

2019年11月1日
公立大学法人首都大学東京

首都大学東京におけるパソコンのウイルス感染について

このたび、首都大学東京教員のパソコンがウイルスに感染し、当該パソコンからメールアドレスが窃取されていることが確認されました。

現在判明している調査結果については、下記のとおりであり、二次被害は確認されておりません。引き続き、被害防止と原因究明・拡散防止のため、調査を継続していきます。

なお、当法人の教職員を騙る不審メールを受信された場合には、添付ファイルやメール本文中のURLリンクを絶対に開くことがないよう、ご注意ください。

記

1 これまでの経緯と対応

- ・10月18日（金）10時頃 実在する雑誌社を騙る不審メールの添付ファイルを教員が開封
- 同 日 17時頃 法人の教職員を騙る不審メールが法人内の教職員に着信
- 同 日 18時頃 法人の教職員及び首都大学東京の学生に対する注意喚起を実施
 関係者に当該教員から注意喚起を連絡
- ・10月21日（月）17時半 学外向けに法人HP及び首都大学東京HPに注意喚起を掲載
- 同 日 夕 刻 当該教員のパソコン1台がウイルス感染(※)していることが判明
- ・11月 1日（金）14時半 専門業者の調査により、一部のメールアドレスの窃取を確認

※ 感染したウイルス：EMOTET（エモテット）

主にOutlookに関する情報の窃取を目的としたウイルス

2 窃取された情報

当該教員とメールの送受信を交わした一部のメールアドレス

3 ウイルス感染による影響範囲

当該教員のメールボックス内に保存されていたメールの件数
18,843件（受信メール 12,069件、送信メール 6,774件）

※ 現時点では、窃取されたメールアドレスの件数は判明しておりません。また、メール本文や添付ファイルの外部流出の可能性についても併せて調査を継続してまいります。

4 再発防止策

法人教職員に対して、不審メール対策に関する注意喚起を実施するとともに、パソコンのセキュリティ対策の徹底を図ってまいります。

5 その他

情報を窃取されたことについて、警視庁に相談を行っています。

問合せ先

公立大学法人首都大学東京総務部情報担当

（直通）042-677-1154